

頭頸部癌の病理組織学的検討 の研究

1. 研究の対象

2004年1月1日から2020年12月31日に当院を受診され治療された、成人の頭頸部癌の患者さんが対象です。

2. 研究目的・方法

頭頸部癌は昨今増加傾向ではありますが、現在有効な予後規定因子や進展様式、治療効果については不明な部分が多い疾患です。

本研究の目的は、頭頸部癌の病理標本を用いて病理学的検討を行い、頭頸部特有の癌細胞の進展様式や予後規定因子について検討することです。

研究の方法として、当院治療時の病理組織検体を参照します。研究期間は学校長承認日より令和6年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 診断、治療で使用された病理検体の余剰分を使用します。

情報: 原発巣切除および生検が行われた頭頸部癌検体で病理標本として作製されたもので各種臨床病理学的データがアクセス可能な頭頸部癌の原発巣およびリンパ節郭清の標本を用いて通常のヘマトキシリン・エオジン染色および免疫染色(α -SMA, laminin, Type IV collagen, p16, PDL-1 など)を用いた病理学的解析(組織学的悪性度、腫瘍の最大径、浸潤の深さ、脈管浸潤など)を行い、新たな頭頸部癌の進展様式の頻度や予後規定因子などを解明します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

主任研究者 荒木幸仁

埼玉県所沢市並木3-2 防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座

電話: 04-2995-1211 (内線 2335)